

看護部  
看護師 (入職1年目)  
はやし たくみ  
林 拓海



現役看護師の母親から勧められたのがきっかけで、看護師になろうと思いました。入院という慣れない環境や自身の病状について不安を抱えている患者さんに寄り添い、どんなに些細なことでも、患者さんの思いを汲み取ることができる看護師になりたいです。

マイブームは野球です! 見るのも実際にプレーするのも好きです。部署の先輩方に誘われて一緒にするのが、最近の楽しみであり、いいストレス発散になっています!

看護部  
看護師 (入職1年目)  
たはら はるか  
田原 春花



看護師を目指した理由は、病気と闘っている患者さんが笑顔で過ごせるように、手助けしたいと思ったからです。そのために、広い視野を持ち、率先して行動することができる手術室看護師になることを目標に頑張っています。

趣味は、きれいな景色の写真を撮ることです。就職を機に山口に引っ越してきたので、コロナが落ち着いたら山口の絶景スポットを探して撮影しに行きたいです。

旬食材で 栄養管理室が発信!

## 健康レシピ

管理栄養士  
ながた ともこ  
永田 朋子



ポテトサラダのジャガイモをサツマイモに変えるだけで秋らしい一品が完成! サツマイモに含まれる食物繊維やヤラビンは便秘解消に効果的。よく洗って、栄養豊富な皮ごと食べるのがおすすめです。簡単なので、副業に困ったときに作ってみてはいかがでしょうか?

## no.17 サツマイモで作る秋のポテトサラダ

- 材料 (2人分)
- ・サツマイモ.....90g
  - ・ベビーチーズ.....2個
  - ・アーモンド(お好みのナッツ類).....2~3粒
  - ・マヨネーズ.....大さじ1/2
  - ・無糖ヨーグルト.....大さじ1/2
  - ・黒コショウ.....適量



- 作り方
- ①1cm角のさいの目切りにしたサツマイモを耐熱容器に広げ、ラップをかけて電子レンジで3分間加熱する。
  - ②チーズをサツマイモと同様のサイズに切る。アーモンドは砕いておく。
  - ③すべての材料をボウルに入れ、混ぜ合わせたら完成。

## ご感想・ご意見を募集しています

誌面に対するご感想やご意見、とりあげほしいテーマがありましたら、①氏名②住所③年齢④性別⑤ご感想などをご記入のうえ、下記宛先までお便りかメールでお送りください。

○個人情報取り扱いについて  
個人情報は、今後の誌面づくりの参考のために使用し、使用後は編集部が責任をもって破棄いたします。

〒745-8522  
周南市孝田町1-1  
JCHO徳山中央病院 総務企画課 宛



## 編集後記

今回ご紹介した「サツマイモで作る秋のポテトサラダ」、チーズとサツマイモの相性がピッタリでとても美味しかったです! 黒コショウを少し多めに足せばピリリとスパイシーな大人の味に。レンジで簡単に作れるのでオススメですよ~。秋といえば、やっぱりサツマイモですね! みなさんは、どんなサツマイモ料理が好きですか? (H)



JCHO 徳山中央病院 広報誌「Smile」 秋号 vol.017 2021年11月12日発行  
発行/JCHO徳山中央病院 direction & design/しろくまグラフィックス writing/小野理枝 photo/Photo Office MOTHER LEAF  
お問い合わせは... JCHO徳山中央病院 総務企画課 TEL: 0834-28-4411 E-mail: main@tokuyama.jcho.go.jp

# Smile

Tokuyama Central Hospital

【スマイル】

地域のみなさまと「JCHO徳山中央病院」をつなぐ  
コミュニケーションマガジン

ご自由にお持ち帰りください

vol.017  
Autumn.2021

診療科情報 / 遺伝子診療科 P1-2

## 遺伝子とアイデンティティ

産婦人科・遺伝子診療科 副主任部長  
臨床遺伝専門医

山縣 芳明

Hello! 部署訪問 P3

## 西館7階病棟

認定・専門看護師 P4

感染管理認定看護師  
松原 典子

<Pick up!> P5-6

ご要望やご相談はこちらへ!  
患者さんと病院との潤滑油

## 患者サポートチーム

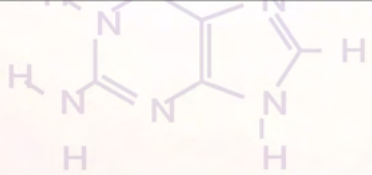
よろず相談室 P6

表紙のはなし: フレッシュスマイル! P7

看護師 林 拓海 看護師 田原 春花

旬食材で健康レシピ P7

サツマイモで作る秋のポテトサラダ  
管理栄養士 永田 朋子



## 遺伝子診療科とは

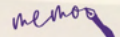
遺伝子診療科は2019年、当院に開設された新しい診療科です。

病気には遺伝子の異常が原因で発症するものがありますが、そうした遺伝子の異常を特定し、治療やカウンセリングに結びつけるのが遺伝子診療科の役割です。

遺伝子診療科の診察日は毎週水曜日午後。予約のみの診療を行っています。診察やカウンセリングは産婦人科外来診察室で行っています。



産婦人科・遺伝子診療科 副主任部長  
臨床遺伝専門医  
やま がた よし あき  
**山縣 芳明**



### 遺伝子は“個性”です

私たち人間の体は、約60兆個の細胞から成り立っています。それぞれの細胞の中には核があり、その中には遺伝子をのせた染色体が入っています。この染色体を構成する重要な成分がDNAです。DNAは4種類の塩基と呼ばれる分子のブロックが一列に並んだもの。この4種類の塩基の並びこそが遺伝子です。遺伝情報全体のことをゲノムと呼びます。ヒトゲノムには約2万数千種類の遺伝子があります。遺伝子は人によって個性があり、私たちの見た目の特徴や病気のなりやすさなどを決める一因となっています。

## がんゲノム医療

がんは遺伝子の異常によって発症します。がん細胞の遺伝子を網羅的に調べ(がん遺伝子パネル検査)、個々の患者さんに適切な薬剤投与に結びつけるのが「がんゲノム医療」です。がん遺伝子パネル検査の現在の主な目的は、治験や承認薬に結びつけることです。当院は、がんゲノム医療連携病院として、がんゲノム医療を積極的に進めています。がん遺伝子パネル検査のほとんどは保険診療で行われています。対象となるのは、標準治療が終了(見込み)の固形がんや希少がんなどの患者さんです。この検査は、既に生検や手術で保存されたがん組織を用いて行います。2021年8月からは、血液でがん遺伝子パネル検査を行う「リキッドバイオプシー」という新しい方法も保険適用となりました。

現時点では、残念ながらがん遺伝子パネル検査の結果によって有効な治療薬投与に結びつく可能性は高いとはいえません。しかし、検査方法や治療薬の開発、患者申出療養など、がんゲノム医療は日々進化しています。

## 遺伝性腫瘍(遺伝性のがん)

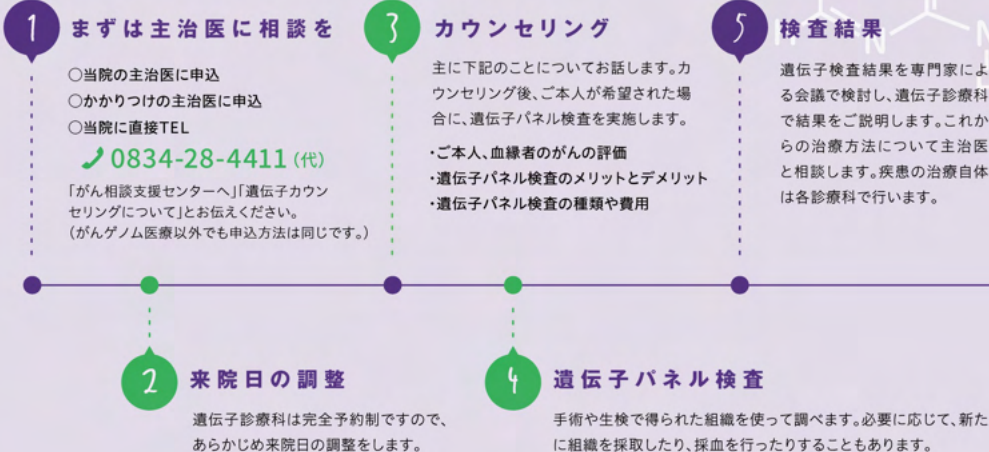
がんのおよそ1割が遺伝によるものといわれています。そのほとんどは、がんの発生を抑制する「がん抑制遺伝子」の変異が原因で、1/2の確率で親から子へと受け継がれてしまいます。遺伝性のがんの代表的なものが「遺伝性乳がん卵巣がん症候群(HBOC)」です。HBOCと診断された方は、乳がん、卵巣がんをはじめ、膵臓がん、前立腺がんも発症しやすい傾向があるため、早くがんを見つけるサーベイランス(定期的な検査)や予防的手術などが推奨されます。

### 遺伝するがんの特徴

- 若い時から見つかる
- 複数のがんが見つかる(同じ臓器または違う臓器に)
- 両側にがんが見つかる(乳がんなど)
- 家系内に同じ臓器のがんが発症している

遺伝子診療科では、このようながんの患者さん、ご家族をサポートしています。他にもがん以外のさまざまな先天性疾患の遺伝子診断、出生前検査などのカウンセリングを、主治医と協力して行っています。

## がんゲノム医療の流れ



がんゲノム医療における遺伝カウンセリングでは、ご本人がいつどんながんにかかったのか、血縁者にどのようながんにかかった方がいらっしゃったのか、詳しくお話を伺うことから始まります。患者さんの病状や心面・社会面、プライバシーなどを最大限に尊重した上で、遺伝子パネル検査を受けてわかること・わからないこと、結果をどのように活用できるのか、あるいは遺伝子パネル検査を受けない場合についても話し合います。

また、遺伝情報の解析により、正確な診断やより良い治療に結びつくことが期待される一方で、本来の目的ではない遺伝情報もわかることもあり、将来への不安が増す可能性があるかもしれません。もちろん、患者さんそれぞれに考え方や価値観が違うこともあるでしょう。遺伝カウンセリングでは、そういった患者さんに寄り添いながら、これからの治療や対応を一緒に考えていきます。

## 遺伝子診療科に関わる専門スタッフ



## 西館7階 病棟

### 部署データ>>

- ✓ 耳鼻科医師 ……3名
- ✓ 循環器内科医師 ……8名
- ✓ 総合診療内科医師 ……2名
- ✓ 看護師 ……31名
- ✓ 看護補助者(東館7階病棟兼務) ……6名
- ✓ 事務補助者 ……1名



### どんなときも笑顔で寄り添い 患者さんの心の支えになりたい

西館7階病棟は耳鼻咽喉科、循環器科、総合内科の混合病棟です。それぞれの科で手術や検査を受けられる患者さんへの対応や看護を行っています。また、夜間や休日の緊急時の心臓カテーテル検査・治療の対応ができるように態勢も整えています。入院患者さんのなかには、高齢の方や1人暮らしの方もおられるため、入院時から退院後の生活を考え、医師や看護師、薬剤師、栄養士、リハビリ、地域連携室の担当者や相談しながら、患者さんやご家族の支援に取り組んでいます。

病棟にはICLS(二次救急処置)のインストラクター、災害支援看護師、院内認定おむつマイスターなどの資格を持つ看護師がおり、知識や技術の向上を図っています。子育て中の看護師も多く、多様な働き方を理解して、協力合っています。

2020年4月から、通常の病棟業務に加えて「感染症(COVID-19)の判別をするための個室の確保」の役割を担うことになり、一般病床を縮小、個室を3床確保し、受け入れ態勢を強化しました。患者さんは急な入院の上、個室隔離の入院を余儀なくされ、防護服を着た看護師が看護するため、大きな不安を感じ、自分を責められる方もおられました。そこで、看護師は患者さんに寄り添い、安心していただけるように看護してきました。感染状況が好転したため、2021年5月に

緊急入院も多く忙しいですが、子育てをしながらも毎日楽しく笑顔で働いています!

ちかひら ちえみ  
看護師 近平 知恵美



は個室2床に縮小し、通常業務に戻りつつあります。

患者さんが退院される場面では、自然と看護師がエレベーターホールに集まり、患者さんと握手をしたり手を振ったりと、笑顔でお見送りをしています。ご家族や患者さんから感謝のお手紙をいただくこともあります。「入院するときはまたお願いします」などと直接声をかけていただくと、とても嬉しい気持ちになると同時に、大きなやりがいを感じます。これからも患者さんが安全・安心に入院生活を送れる環境を提供できるように努めていきたいと思っています。



明るく元気な先輩方のもと、アリエアティ\*と共に成長できるよう頑張るぞ!!

※新人看護職員

くぼ ままなみ  
看護師 久保山 真奈美

## 認定看護師

### Certified Nurse

徳山中央病院では、現在14名の認定看護師が活動しています。今回は、感染管理を専門とする認定看護師をご紹介します。

### 認定看護師 って?

特定の専門分野における看護のスペシャリストです。看護師として5年以上の実践経験を持ち、日本看護協会が定める615時間以上の認定看護師教育を修め、認定看護師認定審査に合格した者のこと。合格後は、5年ごとに更新審査が行われます。

### 感染管理認定看護師

まつばら のりこ  
松原 典子



### Q 感染管理認定看護師の役割は何ですか?

A 感染管理認定看護師として10年目を迎えました。初年度に「感染防止対策室」を立ち上げ、約2年半専従として、感染管理の基盤をつくりました。異動後は専任の立場から対策に関わり、今年度から再び専従として、院内・院外の感染管理に携わっています。感染管理認定看護師の役割は、病院に関わるすべての人々を感染から守ることです。2年前から猛威をふるっている新型コロナウイルス感染症、季節性インフルエンザやノロウイルス、耐性菌などの院内での発生を防ぐため、また、不幸にも感染が発生したときは、それ以上拡大しないように、感染対策に全力を尽くしています。

### Q 感染症を防ぐために大切なことは?

A 新型コロナウイルス感染症の拡大がきっかけとなり、手指衛生、マスク着用、手で触れる箇所の清掃などは、日常的に浸透しています。これらはどのような感染症においても重要な予防策です。なかでも、手指衛生は誰にでもできるシンプルな予防策のため、多くの人が「簡単にできる」と思われているのではないのでしょうか。しかし、実際はそんなに簡単ではありません。正しい方法と適切なタイミングでなければ、感染対策が行えていたとはいえません。マスク着用も同様です。そこで、私たち感染管理認定看護師は、確実に感染対策が行えるように、正しい手洗い法やマスクの装着、清掃の仕方などの指導や啓発をしています。

### Q 日々大切にされていることを教えてください

A 院内には、医師や看護師、薬剤師、臨床検査技師からなる「院内感染対策チーム(ICT)」が構成されており、週に1回、院内の巡回を行い、感染対策状況の監視や指導を行っています。また、感染症の発生状況や抗菌薬使用状況の把握のほか、必要に応じて改善策を検討・発信しています。ICTには院内・院外を問わず多くの相談が寄せられます。その際は、多職種が情報を共有しながら、専門的な知識を駆使し、根拠に基づいた対応や回答を行っています。感染管理認定看護師の存在が少しずつ認知され、地域での活動も増えています。他施設からの相談、訪問ラウンド、研修会を通して、地域全体の感染対策の底上げを目指しています。

コロナ禍の日常は、感染対策とともにあります。感染管理認定看護師として、常に最新の情報を察知・発信し、正しい感染対策の実施に向けて活動を続けていきたいと思っています。



### 松原看護師のFavorite!

元気の源は音楽ライブ! 推しのアーティストはありますが、お誘いがあればどんなアーティストのライブにも行きます。コロナが収束して、早くライブが行けるような状況になることを願っています。



Pick up!  
ピックアップ!

患者さんからのご意見やご要望をお聞きする窓口として、昨年からは本格的な取り組みをスタートした患者サポートチーム。日々、対策や院内改善に力を注ぐ中心メンバーの3人にお話をうかがいました。

# 患者サポートチーム



患者サポートチーム  
山本 文男

患者サポートチーム  
奥谷 健悟

患者サポートチーム  
山村 信義

## —患者サポートチームとは？

**奥谷** 患者サポートチームは、患者さんやそのご家族の相談窓口として地域連携室内に設置されています。もともと部署はあったのですが、昨年4月からチームとして本格的に動き出しました。チームメンバーは、医師や看護師、医療ソーシャルワーカー、事務職員など。相談内容に応じて専門家が対応できるように、スピーディーな橋渡しを行っています。

**山村** 主に、医療安全や病院職員に関するご意見・ご相談など、地域の皆様から寄せられる声に対応しています。我々はいわば患者さんと病院との潤滑油。第三者として中立の立場で対応しています。

**奥谷** 日頃から患者さんと医療者の間で治療上の認識や理解の相違などが発生しないように丁寧な説明を心掛けていますが、万が一相違が生じてしまった場合、我々が介入することで対話をスムーズに促す「医療対話仲介者（医療メディエーター）」としての役目も果たしています。

**山本** 院内の防犯の意味も含めて警察OBもメンバーに加わっています。定期的に院内を見回り、患者さんのお困りごとへの対応、職員へのアドバイスなどを行うことで、安心・安全な医療環境づくりに努めています。

院内が広いので、時々、行き先がわからなくて困っていらっしゃる患者さんを見かけます。「どこに行かれるのですか?」とこちらから声をかけることで、何かあればすぐに相談してもらえそうな関係性をつくることを心掛けています。

**奥谷** 相談窓口でいただいたご相談やご意見をもとに、地域包括支援部長でもある三井副院長を筆頭に、関係職種を集めて毎週カンファレンスも行っています。さまざまな視点から改善策などを話し合い、新たに規定を設けるなど、改善に向けて取り組みを進めています。また、定期的に「患者サポだより」も作成・発行しています。患者さんからどんなご要望が寄せられて、その後どのように対応したのか、情報を共有することで、全職員の共通理解を図っています。

## —具体的にはどんな活動を行っているのですか？

**奥谷** 患者サポートチーム内で検討し、改善した一例として、中央採血所に関する取り組みをご紹介します。当院の各外来



## 中央採血所 混雑状況

時間帯	曜日	月	火	水	木	金
8:30~9:00		●	●	●	●	●
9:00~9:30		●	●	●	●	●
9:30~10:00		●	●	●	●	●
10:00~12:00		●	●	●	●	●
12:00~15:00		●	●	●	●	●

● 混雑 ● やや混雑 ● 空いている

※曜日・時間帯等の変更をご希望の方は、外来受付へご相談ください。

(左) 患者サポートチームのメンバー  
(下) カンファレンスの様子



では8時30分から受付がスタートします。そのため、1階の中央採血所受付前では、長年、8時30分から9時30分の間に各診療科からオーダーが出た採血受付待ちの患者さんが集中していました。

**山村** 中央採血所受付前には、多いときで100人以上の長蛇の列が発生し、30分以上立ちっぱなしで並んでいる患者さん、お身体が不自由なご高齢の患者さんなどもいらっしゃいました。また、行列が発生することにより、中央採血所受付前の一帯が混雑し、他の患者さんの通行の妨げにもなっていました。この行列については、以前から改善を要望する声も寄せられていました。

**奥谷** そこで、関係職種と話し合いを重ね、整理番号を作成し、採血受付までの待機エリアを確保するよう早急に対策を講じました。そして、患者サポートチームメンバーが受付前に来られた患者さんに整理番号を配布し、待機エリアで座って待っていただき、順番にご案内することにしました。

**山本** 待機エリアには、中央採血所の混み具合が一目でわかるような表を設置し、採血時間が変更できる方には時間帯を選択していただけるようにご案内しています。また、コロナ禍ということもあり、病院からは三密を避けるために朝の混雑する時間帯を避けてお越しいただくようお願いの文書が配布されました。

**山村** この取り組みを始めておよそ半年が過ぎました。その結果、ほんの少しではありますが、混雑が平準化されて、全体的な待ち時

間も短くなってきました。

**山本** 患者さんからは「以前は立ったままで並んでいたのが今は楽になった」「座って待てるようになり良かった」といったうれしいご意見が寄せられるようになりました。

**山村** 「ありがとう」と言っていただけのが、何よりのやりがいです。患者さんはもちろん、院内の職員からもうすぐ相談してもらえるような体制を整えているのでお気軽にお声がけください。

**奥谷** 中央採血所の例は、あくまでも行列を解消したに過ぎませんが、採血までの待ち時間や外来診療の待ち時間など、まだまだ改善の余地はあるものと考えています。ご意見やご相談がありましたら、お気軽にご連絡いただけたらと思います。

## —これからの目標や展望を教えてください。

**山本** 今後も、地域のみならずの声に耳を傾け、安心してご利用いただける病院となれるよう力を尽くしていきます。

**山村** 新棟建設工事がスタートしました。それに伴い、診察場所などが順次変更されていくので、できるだけスムーズに行き来できるようにご案内したいと思っています。

**奥谷** 大きな目標は、病院の顔のような窓口になること。いずれ、入院支援室やがん相談支援室と合併してセンター化し、入院前から退院後まで一貫してサポートする窓口として一本化できたらいいなと思っています。



番号札の配布は、ロビーの自動精算機の奥で行っています

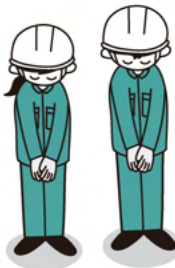
## 新棟建設工事のおしらせ

西館棟(外来・病棟)及び南館棟は、築45年を経過し、建物及び設備等の老朽化が進んでおり、ご不便をおかけしております。

この度、新棟建設工事を行うことになりました。工事施工中は皆さまにご不便・ご迷惑をおかけ致しますが、ご理解・ご協力をお願いいたします。

<工事期間> 令和3年10月~令和7年10月末日予定

<工事概要> 新棟建設、西館棟・南館棟の解体、敷地内駐車場の整備を段階的に行います



## 医療のギモンにお答え! / よろず相談室

問、「医療療養病床」ってなに?

答、医療療養病床とは、ある程度病状が安定している慢性期の状態にあり、引き続き継続的な医療的管理を必要とする患者さんに対して、入院医療を提供する役割を持つ病床です。入院期間が長期にわたる場合もありますが、医療的管理の必要がなくなれば、退院して在宅復帰、または介護施設へ入所となります。

## 地域連携・相談室は、

地域みなさまと当院をつなぐ地域医療の窓口です。

退院・転院支援や、活用できる社会制度の情報提供、患者さんやご家族のご心配事など、誰に相談していいかわからなくて困っていませんか? どんなことでもかまいません。まずはお気軽にご相談ください。



西館1階にあります。